

虹の大樹

JAさっぽろコミュニケーションマガジン
「にじのたいじゅ」

2025年
8月号
NO.321

協同組合という
虹のもと、
大都市に深く
根を張りそびえる
大樹のような
JAで
ありたい——

今月の特集

第27回通常総代会

グッチーさんと行く！ コンサドーレ食の冒険ツアー



砥山ふれあい果樹園、家族での摘果作業
Photo by SOGA Takahiro

ふれあい、助け合い。 土と共に歩む、 砥山ふれあい果樹園の軌跡

南地区 瀬戸 修一さん
と しゅういち
メラルさん



土とともに歩み、支え合い、夢をつなぐ……。やさしい時間が流れる
その場所で、家族と人々の物語が静かに紡がれている。

八剣山に抱かれた 「ふれあい」の理想郷

札幌市南区、八剣山を望む静かな里山に「砥山ふれあい果樹園」がある。季節ごとに表情を変える果樹畑には、四季折々の実りが広がっている。農園を支えるのは、園主・瀬戸修一さん、トルコ出身の妻・メラルさん、そして娘のエミールさんだ。異国で出会い、深い絆で結ばれた家族が、力を合わせてこの場所を守り続けてきた。

修一さんは幼い頃から農業に親しみ、一度は東京で暮らしたが、45歳で故郷に戻り、再びこの地の土を踏みしめる決意をした。2002年、修一さんが園の名に込めたのは、「土と人、人と人がふれあい、支え合う場所にしたい」という願いだ。かつては養鶏と果樹の兼業農家だったが、今では札幌を代表する観光果樹園へと成長した。プラムやハスカップなど、季節ごとの果物狩りが楽しめ、収穫期には多くの家族連れで賑わう。

その名の通り、地域に愛される存在となっている。

逆境が生んだ、 新たな光

そんな穏やかな日々の中、思いがけない試練が訪れた。十数年前、修一さんが大病を患い、農業に携われない日々が続いたのだ。大黒柱を失った家族に残ったのは、不安と孤独。文化や言葉の壁に何度もぶつかりながらも、母と娘は懸命に果樹園を守り続けた。

メラルさんの胸にあつたのは、「前向き。前向き」という祈りのような心の声だった。この言葉が困難な状況を乗り越える力をくれたのだ。前向きな家族に手を差し伸べ、救ってくれたのは、他ならぬ地域の人々だった。修一さんの知人、メラルさんが通っていた日本語学校の友人たち、総勢約70名もの人々が、助けに駆けつけてくれたのだ。慣れない農作業に汗を流し、剪定作業やトラクターの操縦、そして収穫まで、多くの



1



2



3



4



5

1. ブルーンの摘果作業を行なうエミーレさん。小学校を卒業するころには、果樹園を継ぎたいと話してくれていた。2. 十分に日の光を浴びて鮮やかに色づくプラム。3. 青空が映える八剣山のふもとに位置する直売所とキッチンカー。4. 砥山の地にこだわり、地元でのイベントや食育活動にも力を入れている修一さん。5. 果樹園の顔、看板犬「次郎」。10年以上、瀬戸さんご家族と共に人々をお出迎え。

方が力になってくれた。

困難があったからこそ、改めて修一さんの人脈や、これまで守ってきたものの大きさが感じられた。言葉や文化の壁を越えた「助け合い」の輪が、新たな光をもたらしたのだ。「流した涙のすべてを、この果樹園の一本一本の樹が受け止めてくれた」とメラルさんは語る。

農業に励む中で知った、たくさんの人の助けと温かな「日本人の心」、そこにはより一層深い絆が結ばれた。エミーレさんもまた、母の背中を見て大きく成長した。幼いながらも両親を支えた、その強さは「子でありながら母親のような大きな心のよりのところであった」とメラルさんは話す。家族が寄り添い、支え合い、困難を乗り越えた日々は、かけがえのない思い出として今もこの地に根付いている。

土と夢が息づく、 家族のあした

病から回復した修一さんは、支えてくれた多くの人々への感謝を胸に、改めて家族の大切さを噛みしめている。「奥さんがいなかったら、ここまで来られ

なかった」——その表情には、深い愛情と感謝が溢れていた。

メラルさんも、「もし生まれ変わっても、やっぱり修一さんとこの地で農業をしたい」と、静かな決意を込めてほえむ。日本の四季の移ろい、土に触れる喜び、そして何よりも「人と人が通じ合い、助け合う心」は、家族で分かち合ってきた計り知れない財産だ。

その想いは、エミーレさんにも確かに受け継がれている。幼い頃から両親の背中を見て育ったエミーレさんの夢は、「果樹園を継ぐこと」だ。

「家族で力を合わせて、この園を守り続けたい」——SNS運営やキッチンカーでの販売にも挑戦している。そんな娘の姿を、修一さんは温かく見守り、そっと背中を押している。

砥山ふれあい果樹園の豊かな土壌は、果実だけでなく、家族の絆、人々の温かさ、そして「応援の力」という、かけがえのない宝物を育んできた。この地で紡がれる物語は、これからも土と人々の愛が織りなす、生命の輝きそのものとして息づいていくだろう。

第27回 通常総代会

J Aさっぽろの第27回通常総代会が、6月30日(月)午後2時より共済ホールにて開催されました。総代出席者は、本人出席216名、書面議決418名、委任出席0名の合計634名。開会宣言後、左記の次第に沿って進められました。

- 次第
- 1 開会
 - 2 J A綱領唱和
 - 3 代表理事組合長挨拶
 - 4 来賓祝辞
 - 5 議長選出
 - 6 書記の指名
 - 7 議案審議
 - 8 閉会

代表理事組合長挨拶抜粋

昨年 of 地域農業を振り返りますと、平年並みの降雪量と春の高温傾向により、播種・定植等の農作業は例年より速いペースで終了した一方、生育時期の降水量不足などにより一部作物では出荷量の減少や品質の低下等の影響がありました。概ね平年並みの出来高となりました。



出席いただいた組合員に対し、挨拶を述べる軽部組合長

品目別では、たまねぎは移植時期の降雨による定植の遅れと5月と6月の少雨・干ばつ傾向により緩慢な生育状態となったことに加え、肥大期の降雨不足により全道平均よりも収量が下回る年となりました。

水稲につきましては、全国的な猛暑および水不足を原因とする品質の低下と流通量の減少に見舞われた一方、石狩管内では登熟期間中の好天・適温により収量がやや多くなった結果、作況指数はやや良の103となりました。

改めて生産者の皆さまが、このような厳しい状況の中、不断の努力をされていることに対して敬意を表し、感謝申し上げます。

今年の冬は例年に比べて降雪量が少なく、札幌では4月早々に積雪が無くなったことで、順調な農作業の開始が期待されていたものの、その後は記録的な日照時間の短さと降水量の多さとなったことにより播種・定植の遅れが目立った一方、5月以降農作物の生育も徐々に回復傾向にあることから、今後も好天が続き、災害に見舞われることなく、豊稔の出来秋が迎えられることを祈念いた



します。

今日の農業を取り巻く情勢は、肥料・飼料・燃料などの資材価格の高騰・高止まりによる厳しい状況が依然として続いています。

また昨年から続く「令和の米騒動」ではJA組織への理解不足から生じる非難を受けるなど、農業とJAを取り巻く環境は困難の度合いを深めております。

「食」を生み出す「農」という基幹産業を支える生産者とJAに関する正しい理解の促進のため、農政活動を通じた正確な情報の発信に組合員の皆さまと共に取り組んでまいりたく、この場をお借りしてご協力をお願い申し上げます。

このような諸情勢の中、令和6年度の決算につきましては、組合員皆さまのご支援により、事業計画を大



議長を務めた平岸地区の
北村晃一さん

幅に上回る成果を収めることができました。

事業概要につきましては後ほど詳細をご説明いたしますが、要点をいくつか申し上げますと、事業総利益44億8,400万円から人件費などの事業管理費37億6,300万円を差し引いた、本業の儲けを表す事業利益を7億2,100万円計上しております。事業利益の計上額としては過去最高額となり、これもひとえに組合員皆さまのJA事業に対する深いご理解とご協力の賜物と心から

感謝申し上げます。

これらの結果を踏まえた最終的な剰余金処分案につきまして、当期末処分剰余金11億2,600万円のうち、利益準備金および任意積立金として4億5,800万円を内部留保し、自己資本のさらなる充実を図ってまいります。

また、組合員皆さまからの出資に対する配当金は1・0%とするこ
と、資金貸付取引および肥料・農業に係る予約購買取引のご利用高にに応じた事業利用分量配当は4,200万円といたしたく、本総代会へ上程させていただきます。

令和7年度は、組合員の皆さまからいただいた意見を反映し策定いたしました、第6次中期3カ年経営計画および地域農業振興計画の実践初年度となります。前回に引き続き重点テーマとして掲げた「農業の持つ価値の発信」のため、多様な担い手と共に札幌と石狩、両地域の農業振興を図り、豊かな新しい農業と地域を創り上げていくことに注力してまいりますので、今後ともJAさつばの各事業へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びとなりますが、今年の五穀豊稔を願うとともに、改めてすべての生産者が素晴らしい出来秋を迎えられるよう、ご参会の皆さまのご健勝・ご活躍を心よりご祈念申し上げます。開会に際してのご挨拶といたします。

議案

議案第1号

令和6年度事業報告、剰余金処分案の承認について

議案第2号

『第6次中期3カ年経営計画および地域農業振興計画』の設定について

議案第3号

令和7年度事業計画の設定について

議案第4号

役員報酬の支給について

附帯決議1件

皆さまにご協力・ご理解いただき、すべて原案通り可決決定され、午後4時14分に閉会いたしました。

令和7年度

第1回地区別懇談会 Q & A

6月10日(火)から17日(火)にかけて、全14地区で地区別懇談会を開催いたしました。各懇談会には、常勤役員および参事・各室部長が2班に分かれて出席し、令和6年度の決算事業報告を行なった後、ご出席いただいた組合員の皆さまより貴重なご意見・ご質問をいただきました。

経営企画部門

Q1 損益計算書の特別損失に計上されている「減損損失」について詳しく教えてください。(平岸地区)

A 減損損失とは、固定資産の価格や収益性が著しく低下し、投資額を回収できなくなった場合に、帳簿価格を回収可能額まで減額し、回収不能分をその期の損失として計上する会計処理(固定資産減損会計)になります。

Q2 令和6年度の事業利益が過去最高となった理由を教えてください。(白石地区)

A 計画外の会計処理の変更により、貸倒引当金が圧縮されたことや、信連からの特別配当金があったこと、さらに相談事業における売買仲介手数料が大きく伸長したことが主な要因です。

Q3 新聞報道等で手稲山口に「道の駅」を計画する話を目にしましたが、当JAとして「道の駅」ができた場合の対応について聞かせていただきたい。(琴似地区)

A 以前より、当JAは札幌市に対して、市内に「道の駅」の建設と出店を申し入れてきた経緯があります。「道の駅」ができるのであれば、当JAとしても協議していきたいと考えております。

Q4 当年度の剰余金処分額が例年よりも多くなったのであれば、出資配当率は1%よりも高くした方が良いのではないのでしょうか。(篠路地区)

A 剰余金処分においては、令和3年度より出資配当率を引き下げた分、事業利用分量配当を行なってきた経緯になります。



新琴似支店

総務部門

Q1 過去に、月寒中央ビルを売却する話がありました。現在はどうなったのですか。 (豊平地区)

A 以前は、老朽化に伴い将来的にメンテナンス費用の負担が大きくなることを考慮して、売却について検討したことがありますが、建物の簿価を踏まえた売却先の確保が難しいこともあり、今後は所有していく方針としております。

Q2 北海道信連による農林中央金庫に対する増資と当JAの外部出資における北海道信連への出資増口について教えてください。また、農林中央金庫から北海道信連に対する配当が減った場合の当JAへの影響について教えてください。 (平岸・手稲地区)

A 農林中央金庫は、資本増強のため全国の会員から7,771億円の増資を受けており、北海道信連も増

資を行なったと聞いております。また、当年度の北海道信連への増資は、令和4年度から継続的に実施されているもので、北海道信連はこの増資等により自己資本造成による資金運用力の強化を図っており、今後当JAに対する安定還元が行なわれるものと考えております。

Q3 事業管理費における職員教育費の金額が、職員一人当たり換算しても、それほど大きくないため、増額するなどにより職員のモチベーションの向上に繋がっていただきたいと思っております。 (手稲地区)

A 貴重なご意見ありがとうございます。検討してまいります。

Q4 職員の役職定年制度について、職員のモチベーション低下に繋がると思われるので、廃止を検討してはどうでしょうか。 (白石地区)

A 若手職員の役職登用や組織の活

性を目的に導入した経緯にありますが、一定程度の活性化が図られたことと人材育成に関する時間不足などの懸念も踏まえ、制度のあり方を検討してまいります。

金融部門

Q1 短期プライムレートは何を基準に設定されているのか教えてください。また、JAさつぼろの運用状況を踏まえた独自の設定は行なえないのですか。 (平岸地区)

A 短期プライムレートは、市場金利の動向を踏まえ独自に設定をしておりますが、道内地方銀行などのレートも参考に決定しております。今後においても適正な金利になるよう努めてまいります。

Q2 単体自己資本比率の状況において、リスク・アセット等の項目にて前期末から大きく減少しているものがありますが、理由を教えてください。 (新琴似地区)

A 令和6年度末基準より、新たな資本規制である「バーゼルⅢ最終化」が適用され、当該ルールに従い自己資本比率の算定を行なったことによるものです。

Q3 農産物特典が付いた貯金キャンペーン商品は、原則中途解約ができないと聞きましたが、多少の融通を利かせていただきたい。 (新琴似地区)



西町支店



厚別支店

A 農産物特典付の定期貯金は、預入時に農産物をお渡ししているため、中途での解約は原則ご遠慮いただいておりますが、やむを得ない事情がある場合などは中途解約に対応させていただきます。

経済・営農販売部門

Q1 部門別損益計算書における農業関連事業の収支改善には、コストダウンだけでなく、売上を増加させるための施策や改善策にも取り組む必要があると思います。(豊平地区)

A 経済事業改革における収支改善にあたっては、コストダウンのみならず、取扱高の伸長をはじめ様々な収益向上に係る取り組みなどを組み合わせることで取り組んでまいります。

Q2 当年産米の概算金単価は決まっているのですか。概算金の設定額によっては、当年産米の集荷率に影響が出るのではないのでしょうか。(平岸・石狩花畔地区)

A 例年、8月頃にホクレンによる全道共計の概算金単価の提示に基づいてJA共計の概算金単価を生産者に示しておりますが、当年産米の概算金は、全国的に昨年よりも高い水

準が既に示されていることから集荷競争が高まることが予想されているため、生産者の皆さまが安心して出荷できる概算金設定をできるだけ早い時期にご案内します。

Q3 米価がこれほどまで高騰した原因について、JAとしてどのような対策を講じているのか教えてください。(石狩花畔地区)

A 昨年からの米価高騰は、報道等でも様々な要因が挙げられておりますが、高温等による作柄不良や精米歩留まりの低下に加え、インバウンドなどによる需要の高まりの影響を受けたことにより、米穀の集荷競争激化に伴う業者間取引価格の上昇が主な原因と捉えております。

Q4 令和6年度における農産物全体の販売高に占める米の取扱高の割合と集荷率について教えてください。(新琴似地区)

A 令和6年度は、8・7億円で販売高全体の約2割を占めており、出荷実績等をもとに概ね9割の集荷率と捉えております。

Q5 農業施設の安全管理を統括する部門を設置することにより、施設の安全操業や事故が発生した場合の対応や責任などが明確になると思いますが、検討してみていますでしょうか。(豊平地区)

A 農業施設の施設運営や安全管理は、現場を熟知した各担当部門において統括するものとして、関係機関等からの協力のもと適正な安全衛生管理に取り組むとともに引き続き安全操業に対する体制整備に努めてまいります。

Q6 猟友会のハンターに対し個体駆除当たりの報奨金の支給を行わないとなかなか対応は難しいと思いますが、どのように考えていますか。(豊平地区)

A 過去に行政に対してそのような話を行ないましたが、難しいという反応がありました。しかし、一方で他の市町村では同様の事例もありますので、引き続き働きかけてまいります。と思います。

Q7 アライグマ駆除について、石狩市内でも捕獲に補助が出ている地区と出していない地区がありますが教えてください。また、シカ被害も深刻であり、同様に対応していただきたい。(石狩花畔地区)

A アライグマ捕獲に対する補助は、「農業施策・環境保全型農業直接支払交付金」の対象地区における環境保全組織が行なっているものですが、花畔地区は組織化されておられません。なお、捕獲罠についてはJAでも貸出しを行なっておりません。シカ被害については、行政に対し改めて有効な取り組みを行なうよう働きかけをいたします。

Q8 有害鳥獣被害対策(シカ被害)で、1年を通して罠を仕掛ける申請を行なうことができるようになりましたが、個人での申請なのか農協のような団体を通じて出すものなのか、提出先を含めて教えていただきたい。(南地区)

A 有害鳥獣の罠による捕獲許可申請はJAにて行なっています。農薬被害がある場合には経済部営農販売課、営農販売部営農課までご連絡またはご相談ください。

中期経営計画 農業振興計画

〈中期経営計画〉

Q1 主要事業取扱計画で、農産物販売高をはじめ令和9年度の目標が令和6年度実績よりも低く消極的な計画に感じられるため、詳しく説明していただきたい。

(新琴似・石狩花畔地区)

A 農産物の販売高について、令和6年度は米価の高騰をはじめ、例年

に比べ青果物の市場価格も高い傾向にありました。これを踏まえ、令和7年度以降の計画では、過去の平均的な実績値を参考に策定しています。また、各部門によって計画策定に関わる事情は異なりますが、過去の実績を踏まえた将来予測に基づいて収支シミュレーションを行ない、中期経営計画に掲げた収支改善策を実践するものとして計画値を設定しております。

Q2 主要事業取扱計画にて販売高が減少するのに貯金残高が増える計画になっていることについて説明していただきたい。(新琴似地区)

A 貯金残高には、販売事業の取扱高の他にも相談事業などによる取扱高のほか准組合員の利用も含んでいることによるものです。

Q3 令和5年度からの合併に伴い、事業管理費が大きく増加していますが、JAさっぽろとJAいしかりの施設や設備状況には大きな違いがあるのでしょうか。(琴似地区)

A 令和5年度の合併により、10月以降の人件費をはじめとした事業管理費が合算されたため、増加したものであり、米麦乾燥調製施設や野菜集出荷施設などの農業施設の減価償却費も含まれています。



南支店

Q4 中期経営計画の総合収支計画で、令和9年度に比べて令和8年度の収益が高くなっている要因を教えてください。

(琴似地区)

なりました。なお、令和6年度の減少は、各支店における様々な増減要因によるものです。

A 主に信用事業において、金利動向を踏まえた調達(貯金)と運用(貸出等)の金利設定に基づく適用期間と利ざや(貯金利息と貸出金利の差)との関係によって、年度ごとの収支が影響を受けることが主な要因になります。

Q6 支店再編の総括において、当初の計画と比較して職員数が減少した理由を教えてください。また、労働生産性が向上したことは、職員数が減少したことが大きな理由ではないのでしょうか。

(琴似地区)

Q5 支店再編の総括の事業利益の推移において、令和元年に試算した令和6年度の見込みと実績との比較だけでは、再編の効果があつたのかよく分かりません。また、令和6年度の事業利益が令和5年度に比べ、統合支店の合計と全支店の合計がともに減少した理由を教えてください。

(琴似地区)

A 職員数の実績値は、年度末時点で退職する職員を除き計上しているため、当初計画よりも減少しているように見えますが、実際の職員数は計画値を維持しております。労働生産性は、職員一人当たりの事業総利益を算出したものであり、支店統合に伴い職員数が減少したことで事業総利益が増加したことが労働生産性の向上に繋がっております。

A 令和元年の支店再編の計画時にお示した見込みとの比較が分かりやすいとの考えにより、資料の表記と

Q7 中期経営計画の相談事業で、支店相談課体制再編の検証とありますが、体制変更から2年が経過して



白石支店

おり、再検証の内容と改善方法を検討しているのか聞かせてください。また、相談事業の貸貸管理部門体制について、支店と本店の貸貸管理の2つの窓口があり、分かり難いなどの意見を聞くことはないのでしょうか。

(琴似地区)

A 不動産取引に必要な宅地建物取引士(資格保有者)の配置状況を踏まえ、各相談課の体制整備が必要であると考えております。また、貸貸管

理体制については、組合員から窓口となる担当者が複数人いることにより、戸惑いが生じるというご意見をいただいておりますので、本支店間での連携を含め改善を図ってまいりますと考えております。

〈農業振興計画〉

Q8 営農販売部の「地物市場とれのと」との運営体制について、将来的に子会社化などは考えているのですか。

(手稲地区)

A 現時点では、子会社化での運営は考えておりません。今後、運営を進める中で運営体制の見直しが必要であれば検討するものとし、現状では農協直営という考え方で進めております。

Q9 農業振興計画の「農業所得の増大」において、安価資材の供給による生産コストの低減とスマート農業の普及推進の両方に取り組んだ場合、生産コスト低減よりもスマート

農業への投資負担が大きくなることで経営的に厳しくなるのではないのでしょうか。
(手稲地区)

A 安価資材の供給は、農業所得の増大に向けて直接費としての生産コストの低減を図るもの、また、スマート農業の普及は生産性向上を目的とした農作業の効率化や省力化を図ることで農業所得の増大に繋げるものとして、それぞれの担い手が求めるニーズに応じて、これらの取り組みを推進してまいります。



琴似支店

Q 10 今後の若い世代に向けて、

スマート農業などによる省力化や経営改善に対し、経済部門のみならず他部門と連携し、一元的に組合員をサポートできるように進めていただきたい。
(手稲地区)

A 貴重なご意見ありがとうございます。他部門連携を視野に入れて取り組んでまいります。

Q 11 スマート農業の推進にて、

GPS・自動操舵装置の普及に向けてRTK(高精度測位技術)の電波塔(基地局)を建てる計画はありますでしょうか。
(石狩八幡地区)

A 現段階では、基地局の設置予定はありませんが、今後の普及状況を踏まえて検討してまいります。

Q 12 農業者が減少する現状は、

なかなか変わらないので、新規就農者などの担い手を増やす取り組みについてJAグループとして国に働き

かけをしてもらいたい。(白石地区)

A 農業者減少については、当JAとしても危機感を持って新規就農者対策に取り組んできており、現場の意見が反映されるようにJAグループ北海道とともに中央要請を行っております。

Q 13 札幌伝統野菜について、

もっと広報活動を行なった方が、多くの消費者にPRできると思うのですが。
(白石地区)

A 伝統野菜は、販売計画の見直しを行なうとともに広くPRを行なう予定です。

Q 14 正組合員が高齢化している

現状を踏まえて、農業振興計画における多様な担い手とは、どのようなものなのか具体的に教えてくださいますか。
(琴似地区)



石狩花畔支店

A 農業振興計画における多様な担い手とは、経営規模や様々な経営形態、年齢にとらわれず、農業経営者はもちろん、農業従事者や経営継承を担う後継者、新規就農者を含め、これからの地域農業に関わるすべての担い手を指しています。

※プライバシーに関するご質問や、過去同様の質問につきましては割愛させていただきますのでご了承ください。

テレビで4つの直売所等をPR!

JAさっぽろの生産者と職員が どさんこワイド179「お絵かきですよ!」に登場!

JAさっぽろの生産者と職員が、STV「どさんこワイド179」の人気コーナー「お絵かきですよ!」に出演し、JAの直売所や生産者のお店を魅力的に紹介しました。

今回は4日間にわたり、各直売所等の旬の農産物等の魅力を発信。クイズコーナーでは4日間で2回正解という結果でしたが、番組を通じてJAさっぽろの生産者や新鮮な農産物等の魅力を多くの方に知っていただく貴重な機会となりました。放送後には「テレビ見たよ!」と温かいお声をかけてくださる方や、実際に直売所に足を運んでくださるお客さまが増え、PR効果も抜群。4日間生産者・職員と共にPRに協力いただいた兼子アナウンサーはじめSTVの皆さまありがとうございました。

これからも札幌という消費地の強みを活かし、生産者と職員が一丸となって、安全・安心で美味しい農産物等をPRしていきます。次回は、8月21日から4日間を予定しています!



● 7月1日 絵の正解 [作り置き]

キタイチゴ農園

四季なりのいちごやブルーベリーを紹介!

左から ヴェール農場 坂東拓也さん
キタイチゴ農園 後藤穂香さん・大堯さん



● 6月30日 絵の正解 [留守番]

しのろとれたってっこ

赤茎水菜やひとみさんおすすめの「きゅうりの塩昆布和え」を紹介!

左から 熊木農園 熊木大輔さん・ひとみさん
澤田農園 澤田真希さん



● 7月3日 絵の正解 [通訳]

清田しいたけファーム

清田ブランドきのこ「清茸」を紹介!

左から 清田しいたけファーム 小林暢子さん 嶋川正洋さん



● 7月2日 絵の正解 [揚げパン]

JAさっぽろ地物市場とれのさと

旬の農産物や「あげいも」を紹介!

左から 木村職員 平松職員

6/4(水)
~6(金)

営農販売部青果課・経済部営農販売課 道外主要出荷市場へ トップセールスで販売促進

JAさっぽろ営農販売部青果課と経済部営農販売課では、道外主要出荷市場へ農産物販売促進を目的とした市場訪問を実施しました。

訪問先として、道外市場でも出荷量の多い石狩地区の主要市場2社と札幌地区の主要市場1社を選定しました。今回の訪問には新生JAさっぽろとして軽部組合長と氏家常務理事が同行。組合長陣頭指揮のもと青果課・営農販売課の合同訪問としてとで、従来の主要出荷品目はもちろん、従来品目以外の農産物についても幅広く話題に上がりました。非常に大規模な商談となり、合併による農産物販売のスケールメリットと相乗効果が取引先への強い発信力となる可能性を改めて感じた訪問となりました。

今後、JAさっぽろでは、両課の農産物販売業務において、双方の共撰共販品目を中心にお互いの強みを活かし、情報共有や業務連携をさらに活性化させていきたいと考えています。スケールメリットと相乗効果を最大限に発揮した販売戦略を構築することにより、主要市場におけるJAさっぽろのシェア拡大および安定的有利販売の確立を目指します。

(樫山特派員)



札幌地区の主要市場、株式会社R & C ながの青果での様子。



石狩地区の主要市場、東京シティ青果株式会社で商談を行なう軽部組合長。



石狩地区の主要市場、丸果石川中央青果株式会社での様子。

6/5(木)
~6(金)

女性部篠路支部 7年ぶりの宿泊研修

女性部篠路支部(嶋知子支部長)では、定山溪森の詩にて一泊二日の宿泊研修を実施し、部員10名と職員2名が参加しました。新型コロナウイルスの影響もあり、実に7年ぶりの宿泊研修を開催。

初日は倶知安の「三島さんちの芝桜」を訪れましたが、あいにくの霧雨。しかし、そんな雨模様を忘れさせるほどの、ピンク色の絨毯のような満開の芝桜を見ることができました。夜は、北海道の食材をふんだんに使った、選びきれないほど種類豊富なバイキングに舌鼓を打ちました。

翌日は札幌芸術の森にて「コスチュームジュエリー美の変革者たち」を鑑賞し、すてきな宝飾品の数々に魅了されました。その後、有明方面に向かい清田しいたけファーム、永光農園、自然満喫倶楽部に立ち寄り、市内の生産者が手がける品々を購入。久しぶりに宿泊研修を開催し、部員同士の親睦を深めることができ充実した2日間となりました。

(真鍋特派員)



女性部篠路支部集合写真(「コスチュームジュエリー美の変革者たち」の看板の前で)。



女性部篠路支部集合写真(倶知安「三島さんちの芝桜」にて)。

6/6(金)

畜産部会

令和7年度牧草収量調査

JAさっぽろ畜産部会(萩中昭夫部会長)では、令和7年度の牧草収量調査(オーチャード・チモシー)を実施し、部会員8名が参加しました。

今年度は、圃場調査の班分けを従来の3班体制から、石狩・手稲・琴似地区をA班、篠路地区をB班とする2班体制に改変。また、調査にあたって新たに加入いただいた部会員3名のうち、江別市の小林紀彦さんの圃場は4日に、池端優さん・横田巖さんの圃場は6日に調査しました。A班・B班ともにケガや事故なく、午前11時40分頃に調査を終了。その後、農業改良普及センターより「牧草の生育は順調であり、チモシーは出穂前→出穂期、オーチャードは出穂期という状況」との講評があり、牧草を適宜収穫するために生育管理と衛生管理を今一度見直すことが重要であると説明を受けました。

最後に、萩中部会長より「9月にデントコーンの収量調査があるので、ご協力をお願いします」と部会員に伝え、解散となりました。(中川特派員)



畜産部会集合写真
(近藤牧場駐車場にて)。

6/10(火)

女性部白石支部

北海道で57年ぶり開催の 全国菓子大博覧会を堪能

女性部白石支部(長峯絹子支部長)では、旭川で開催されている「あさひかわ菓子博2025」への日帰り研修旅行を実施し、部員16名と職員2名が参加しました。

当日は、全道的に雷雨が予報されるあいにくの天候の中で出発。現地に到着した際も、予報通り一時雷雨に見舞われました。しかし、部員の皆さまは、平均2時間待ちとなるほど大人気の全国スイーツマーケットで、1時間待ちの行列に並び、お買い物を楽しんでいました。また、「本当にお菓子で出来てるの」と驚きの声が漏れるほど精巧で素晴らしい全国工芸菓子作品を見学。

天候には恵まれませんでしたが、部員同士で楽しい時間を過ごし、親睦を深めることができました。(中特派員)



女性部白石支部集合写真
(「あさひかわ菓子博2025」の看板の前で)。

6/17(火)

女性部新琴似支部

手芸サークル兼親睦会の開催

女性部新琴似支部(菅原利恵支部長)では、手芸サークル兼親睦会を開催し、部員7名が参加しました。

手芸サークルでは、「シマエナガのちりめん根付」を作成。ちりめん布を使った細かな作業に、皆さま最初は苦戦していましたが、互いにアドバイスしながら、少しずつ形に。完成品は非常に可愛らしく、皆さま大満足の出来栄となりました。

手芸の後は、昼食を囲んで親睦会を行いました。話し声や笑い声が絶えず、会場は大盛り上がり。普段はなかなかゆっくり話す機会がない部員同士も、この日は時間を忘れて交流を深めることができました。

今回の手芸サークル兼親睦会を通じて、ものづくりの楽しさを味わうとともに、部員同士の絆もより一層強まったように感じます。今後もこのような活動を続け、温かい支部の輪を広げていきたいと思います。

(藤澤特派員)



ちりめん布を使用して作成したシマエナガの出来に大満足。

6/18(水)

そ菜部会

カルビー北海道工場で管外視察研修会

そ菜部会(堀尾信弘部会長)では、管外視察研修会を実施し、部会員30名が参加しました。

石狩地区から加工馬鈴薯を出荷している、千歳市にあるカルビー株式会社北海道工場にて工場見学を実施。加工馬鈴薯の取組事例や、ポテトチップスの製造工程などについて詳しく説明していただきました。普段食べているポテトチップスがどのような工程で製造されているか実際に見ることで、皆さま大満足でした。

最後に、千歳の工場でしか製造していない出来立ての「じゃがポックル」も試食。帰りにはサップoportビル園で懇親会を行いました。部会員の皆さまは、これから来る暑い夏を乗り切るための英気を養うことができ、大変有意義な研修会となりました。

(谷越特派員)



そ菜部会集合写真(カルビー株式会社北海道工場の前で、お土産を手に)。

6/20(金)

女性部西町支部

真夏日に日帰り研修旅行

女性部西町支部(松井かよ子支部長)では、札幌市中央区方面へ日帰り研修旅行を実施し、部員13名と職員2名が参加しました。

午前中は、モユクサツポロ内にある都市型水族館、AOAO SAPPORO(アオアオサツポロ)を見学。初めて訪れる部員の皆さまも多く、「見せる展示」が魅力の落ち着いた雰囲気を楽しみました。

昼食はココノスキノ内のビュッフェにて、北海道の食材をふんだんに取り入れたお料理を和気あいあいとした雰囲気の中でゆっくりといただきました。

松井かよ子支部長は「今回は参加しやすい行程にしたことで、多くの部員の皆さまに参加いただき、交流を持てたことを大変嬉しく思います。今後も交流を持てるように活動していきたいです」と話していました。札幌中心部の再開発が進み、移りゆく街並を感じられたことも良かったとの声もあり、大変有意義な1日となりました。(北林特派員)



女性部西町支部
集合写真(AOAO
SAPPOROにて)。

6/25(水)

清田高校生による インタビューを受けました

JAさっぽろでは、地域学習の一環として「清田地区の野菜」について学んでいる清田高校2年生8名からの依頼を受けて、経済部・経営企画部がインタビューに対応しました。

インタビューでは、清田地区における現在の農業の状況(生産農家戸数や出荷量など)、清田産野菜の知名度、栽培量の推移などについて、生徒の質問に分かりやすくお答えしました。

生徒の中には、「小さい頃から学校給食で清田産ほうれん草『ポークラスタ』を食べてきた」と話す方もおり、インタビュー後には「これからも地元野菜をたくさん食べたい!」といった感想も寄せられ、地元農産物や地産地消への関心の高さがうかがえる機会となりました。

今後もJAさっぽろは、地域の皆さまに野菜の魅力をより知っていただけるよう、様々な取り組みを進めてまいります。



学生からの質問に対応する経済部営農販売課阿部主任。

7/3(木)

女性部平岸支部 恵庭方面へ日帰り研修旅行

女性部平岸支部(小林美代子支部長)では、恵庭方面へ日帰り研修旅行を実施し、部員20名と職員3名が参加しました。

午前中はサッポロビール北海道工場で見学を行なった後、岩塚製菓株式会社の北海道工場直営店であるウタリちとせにて米菓などのシヨッピング。昼食は、旬のお料理・釜めし。ちえで、北海道の食材をふんだんに使用した五目釜めしを堪能。午後は、えこりん村にて、名物の「とまとの森」を見学。帰りには、道と川の駅花ロードえにわでお買い物を楽しみました。

部員の皆さまからは「釜めしが美味しかった!」「トマトが大きい!」など、驚きと喜びの声を聞くことができました。終始和やかな雰囲気の中でシヨッピングを楽しみ、恵庭の魅力を再発見することができ、大変有意義な研修旅行となりました。

(田畑特派員)



2013年に「世界一大きなトマトの木」として世界記録に認定された、温室の天井いっぱいに広がるトマトの木は圧巻です。



女性部平岸支部集合写真(恵庭市のえこりん村にて)。

7/18(金)~21(月・祝)

赤れんがプレミアムフェストで『めぐり王国感謝セット』が大好評!

札幌・北三条広場などで開催されたHBC主催「赤れんがプレミアムフェスト」にて、『めぐり王国感謝セット』が販売されました。今回のセットには、めぐり王国北海道NEXTで紹介されたJAさっぽろの生産物4品がセットになって登場。4日間で600食限定の販売でしたが、連日完売となる大盛況ぶりでした。会場には生産者の小林智行さん、嶋川正洋さん、古川貴朗さんも駆けつけ、来場者へ直接、生産への想いを伝えてくれました。HBCの森結有アナウンサーも「しいたけがぶりぶり、チーズが濃厚、古川ポークがジューシー、トマトもとっても甘い」と太鼓判。来場者からは「地元の農産物を食べられて最高!」といった喜びの声が多数寄せられました。今回のフェストを通じて、JAさっぽろの農産物や生産者の魅力を多くの方に知っていただく貴重な機会となりました。

札幌唯一の養豚場「古川ポーク」のソーセージ、清田区ブランドのしいたけ「清茸」、小林牧場のカリットゴーダチーズ、「風のがっこう」のミニトマトがひとつに!

生産者の皆さまにもご来場いただきました!!

左から 古川農場 古川貴朗さん
小林牧場 小林智行さん
清田しいたけファーム 清田しいたけさん
嶋川正洋さん



JAさっぽろ 野球部

天皇賜杯南・北海道大会 で悲願の初優勝！ 9月には全国大会へ！

JAさっぽろ野球部は、2025年7月5日から7日に函館市で開催された「天皇賜杯第80回全日本軟式野球大会 ENEOSトーナメント 南・北海道大会」に出場し、見事初優勝を果たしました。天皇賜杯全日本軟式野球大会は、軟式野球界で最も権威ある大会であり、社会人軟式野球日本一を決める最高峰の舞台です。

そのような南北海道の強豪チームが揃う中、JAさっぽろ野球部は4試合で39得点・失点5という圧倒的な攻撃力と堅い守備を発揮し、盤石な戦いぶりで頂点に立ちました。特に山本泰広選手(経済部)は4試合で2本塁打を記録するなど、攻守にわたりチームを大きく牽引しました。この結果、JAさっぽろ野球部は南北海道代表として、9月5日から10日に秋田県で開催される全国大会への出場権を獲得。天皇賜杯の全国大会へは初出場となりますが、これまで培ってきたチームワークと粘り強さを武器に、全国の強豪相手にも果敢に挑みます。

組合員の皆さまや関係者の皆さまの温かいご支援・ご声援に心より感謝申し上げます。



南北海道代表としての誇りを胸に、野球のできる環境を作っていたいただいている組合員・役職員の皆さま、家族に感謝の気持ちを常に持ち、全国の舞台でもJAさっぽろらしく全力で戦ってまいりますので、今後とも変わらぬ応援をよろしくお願いいたします。

南・北海道大会

- 1 回戦 SSフレンズ(14-0)
- 2 回戦 JAいわみざわ(8-2)
- 準決勝 JB日本血液製剤機構(9-2)
- 決 勝 藤崎整形外科(8-1)

いつもJAさっぽろ野球部を応援いただき誠にありがとうございます。

平成18年に現在のA級(軟式野球格付最上位)に昇格後、札幌支部予選でもなかなか勝つことができず、近年全国大会への出場機会は増えておりましたが、全道強豪チームの高い壁を超えることができませんでした。しかしながら、これまでの悔しさをバネに、選手全員が全国大会出場という目標に向け、気持ちをひとつに努力を重ねた結果、念願の全国大会初出場を達成することができました。

このような結果を残すことができたのも、ここまで野球部を築き上げていただいたOBの皆さま。大会等で業務を

抜ける中、支えていただいている職員の皆さま。そして何より近隣の球場だけではなく、今回全道大会が開催された函館まで応援に来てくださる組合員・役職員の皆さま、これらすべての皆さまのご協力とご支援があって達成できたものと、野球部一同心から感謝申し上げます。

全国大会1勝、そしてJAさっぽろ旋風を巻き起こせるよう、これからも感謝の気持ちを忘れることなく、練習に取り組んでまいります。

それでは皆さま、秋田県でお会いしましょう！応援お待ちしております！！

JAさっぽろ野球部 監督 斉藤竜太



グッチーさんと行く！ コンサドーレ食の冒険ツアー

supported by 札幌グランドホテル

未来のスターたちへ
心を込めて届けた特別な一日



2025年6月21日、北海道の未来を担う北海道コンサドーレ札幌アカデミーの選手たちを主役に、JAさっぽろ青年部プレゼンツ「グッチーさんと行く！コンサドーレ食の冒険ツアー supported by 札幌グランドホテル」を開催しました。

「農と食で心を紡ぎ、共に未来を歩む」をコンセプトに掲げたこのツアーは、北の大地が育む豊かな恵みと、それを支える生産者・調理人の熱い想いを、未来のスターたちへ心を込めて届けた特別な一日。

選手たちは普段なかなか目にすることのない農業の現場へ足を運び、地元の食材をふんだんに使ったランチを堪能。そうした体験を通して、“食”の大切さや生産者への感謝の気持ちを深く感じ取っていきました。

さあ、彼らが五感で体験した「食の冒険」の旅を、どうぞごゆっくりお楽しみください。

団長のグッチーさんから挨拶をいただいて出発！



五感で味わおう！

畑で、牧場で、ホテルで…

札幌の旬と食のストーリー



もぎたてシャッキシャッキ！

小林農園で出会う、6種類のレタスと新鮮な味わいにびっくり！

小林農園では、道内で珍しい6種類を栽培しており、生産者の小林一裕さんが、レタスの新鮮さを保つヒミツや収穫方法を教えてくれました。ラーメンサラダ用にランドホテルに届けるレタスをゲットした後は、奥さま・祐美さん特製の「絶品！ニンニクドレッシング」で6種類のとれたてレタスを試食！もぎたてレタスをパクッと頬張り、「おいしいー！」「シャッキシャッキ」と笑顔が弾けました！



もっと知りたい！

小林牧場の、美味しい牛乳や地球にも優しい酪農のヒミツ

次に向かったのは、たくさんの牛たちが暮らす「小林牧場」！小林智行さんが、牛乳や乳製品ができるまでの大切な工程や、環境に優しい「循環型農業」の取り組みを教えてくれました。牛さんのフンがエネルギーになる「バイオマス」施設も見学して、「へえ〜！」と驚きの声が続々！小林さんは「牛も人間も、『食べ物』が大事」なんだよ」と、命を育む食の大切さを教えてくれました。

発祥の地で味わう、

JAさっぽろの恵み輝く「特別ラーメンサラダ」！

いよいよランチタイムは、札幌の食の殿堂「札幌ランドホテル」へ！伊藤総料理長が、JAさっぽろの生産者が丹精込めて育てた12種類もの農産物を使った、とっておきのスペシャルランチを振る舞ってくれました！中でも注目は、ここが発祥の地である「元祖ラーメンサラダ」！今日はなんと、JAさっぽろの農産物を8種類も使った、まさに“今日だけ”の特別な一皿として登場。選手たちも「こんなラーメンサラダ、初めて！」「野菜が甘い！」と大興奮！伊藤総料理長からは、「強くなるには、やっぱり野菜をしっかり食べることが大事だよ！」と、アスリートにとって何よりも大切な食のメッセージをいただきました。心も体も満たされた、最高のランチタイムとなりました！



- 札幌近郊野菜を使用した元祖ラーメンサラダ
- ヴェール農場の札幌黄パン
- 桑島農園のほうれん草と小林農園の北あかりのポターージュ
- 大西農園のすずあかね苺のバナナコッタ小林牧場牛乳のジェラート添え



今回のツアーでは、自分のエネルギーになる食事の大切さをお伝えできたのではないかと思います。これからトップアスリートを目指す皆さんにとって、バランスの良い食事は特に大切なこと。その為に私たち調理人は、日頃から地域の農家さんと手を組み、安心して安全な食事を提供していくことを最も大事にしていきたいと改めて感じました。



札幌ランドホテル 伊藤総料理長



見つけた!

清田の畑に輝く「ポーラスター」

桑島農園で出会う、大地の恵みと職人技

午後の食の冒険は、清田区の「桑島農園」へ！ここで出会ったのは、緑が鮮やかな清田のブランドほうれん草「ポーラスター」です。桑島さんご家族が、根っこから丁寧に収穫する方法や、新鮮さを保つ袋詰めのコツを教えてくださいました。選手たちは、畑でピンと力強く立つほうれん草にびっくり！「これ、学校の給食で食べたことある！」「ポーラスターの歌、知ってるよ！」と、地元清田の子が教えてくれる嬉しい場面も。自分たちで収穫したポーラスターは、見るからに栄養満点。みんなの体も心も、ぐんぐん育つこと間違いなしです！



清田しいたけファームで広がる、 菌床栽培の世界

大自然の
恵みを育む!

食の冒険ツアーの道中、選手たちが次に訪れたのは、札幌市清田区にある「清田しいたけファーム」。ここでは、豊かな自然の中で育つしいたけの栽培現場を見学しました。選手たちは、一般的な原木栽培とは異なる「菌床栽培」という方法で、一年中安定してしいたけが収穫できることに驚きの声を上げました。嶋川正洋さんから、菌床を丁寧に管理し、しいたけの成長を促すための工夫や、収穫のタイミングなど、美味しいしいたけを育てるための知恵を学びました。



甘いおにぎり
を食べて!



大西農園で出会う、

真っ赤な「すずあかね苺」の魅力

コンサドーレ食の冒険ツアーの締めくくりに選手たちが訪れたのは、札幌市清田区の「自然満喫倶楽部」。太陽の光をいっぱい浴びて育つ「すずあかね苺」が輝く農園です。ビニールハウスに広がる甘い香りと、宝石のように並ぶいちごを前に、選手たちは思わず笑顔に。農園の方から栽培の工夫や、食卓に届くまでのプロセスを学び、食べ物への感謝の気持ちを深めました。

見学の最後には、みんなで名物のいちごソフトクリームを堪能し、大地の恵みにニコリ大満足。甘く最高の思い出とともに、ツアーを締めくくりました。

今回の食育バスツアーは、ただの「食の勉強」じゃありません。プロを目指す選手たちが、自分の身体とどう向き合うかを考える大事な一歩。何を食べ、どう選び、どんな想いで作られているのか。地元の空気を吸い、土の匂いを感じ、本物の食と人に触れたこの体験は、必ず彼らの心と身体、そして未来を支えてくれるはずです。



北海道コンサドーレ
札幌アカデミー
ダイレクター
石川直樹さん

コンサドーレアカデミー選手の冒険ツアーという機会をいただき誠にありがとうございます。今回の体験で選手たちは札幌に生まれ育ったことを誇りに思ってくれるに違いありません。人口減少が危惧される中札幌のスポーツチームが育つことが札幌の魅力づくりになると信じています。未来のトップアスリートたちに今後もぜひお力添えをお願いいたします。



グッチーさん

北海道をはじめ札幌の自然や食材を大切に考える考え方が伝わってきました。地元の農産物や素材を使った料理や、環境への配慮に驚きました。食べ物を通じて未来を考え、地域とのつながりを大切にしている姿勢に感動しました。これからはスポーツ選手として、食生活も意識していきたいと思いました。



北海道コンサドーレ
札幌アカデミー
熊原柏玖さん

JAさっぽろあぐりアクション『地産知笑』コーナーは、組合員の皆さまから「食べたよ!」「行ってみたよ!」といったお声をたくさんいただき、食の輪が着実に広がっていることを実感し、大変嬉しく思っています。第3弾・第4弾となる今回は、JAさっぽろ産の旬のフルーツを活かした自慢のお店をご紹介します。

地産知笑

ち め り しやう

No.03

03

まるで摘みたて。ふわふわ、ひんやり、とろける完熟いちご体験。

けずりいちご

キタイチゴ農園では、ほどよい酸味が特長のいちご「すずあかね」を栽培しています。練乳やソフトクリームとの相性も抜群で、そのままはもちろん、様々な食べ方でお楽しみいただけます。

人気の「けずりいちご」には、収穫後すぐに冷凍した新鮮ないちごを使用。甘酸っぱさがぎゅっと詰まった贅沢な味わいを、ぜひご堪能ください。

その他にも、手作りスコーンやブルーベリー狩りなど、季節ごとの楽しみもご用意しています。自然の恵みあふれるキタイチゴ農園へ、ぜひ一度お越しください。

¥600+税(イトイン¥660、テイクアウト¥648)



本業はたまねぎ農家ですが、友人と一緒にいちごの栽培とそのいちごを使ったメニューを提供できるカフェを始めました。いちごはビニールハウスで高設栽培をしています。養液で管理しており、日照センサーと連動しているため、適切なタイミングで適切な量の灌水と施肥ができるメリットがあります。ぜひ来てみてください!



北札幌支店 組合員 坂東拓也さん

いちごの酸味と練乳の甘味が、ほどよい均衡でさっぱりと食べやすかったです。ふわふわした削りいちごに、練乳がしみ込んだことでシャリシャリとした舌触りもあり、いろいろな食感を楽しむことができました。かき氷とは違い、冷凍いちごのみが使用されているため、味のしない部分がなくサイズよりも満足感がありました。時間が経っても美味しいので、ドライブのお供にのんびり食べるのもいいと思いました。

夏にピッタリの「けずりいちご」をいただきました!凍らせたいちごをそのまま使用していて、いちごの酸味と練乳の甘さがとてもマッチしていました!小さいお子さんでも喜んで食べられる一品です。他にもスコーンやパフェが販売されており、お店の雰囲気もとても落ち着いていてデートや家族連れには最高のカフェですね!

北札幌支店 山本職員



北札幌支店 三島職員



江別 275 号線沿いのキタイチゴ農園カフェ。毎朝焼き上げる天然酵母スコーンは大人気。サクふわ食感と奥深い香りが特長で、「トマト&バジル」など様々な味を楽しめます。

キタイチゴ農園

江別市角山 442-11(国道 275 号線沿い)

TEL 011-807-7379

● 営業時間 / 11:00~16:00(ラストオーダー 15:30)

● 定休日 / 火曜日・水曜日

● 駐車場 / あり

キタイチゴ農園
Instagram ▶



「食べて応援」で、
地域をもっと元気に！

生産者のこだわりと、それを受け継ぐお店の想いを、支店職員による現地レポートとともにお届けします。地元の美味しさを知り、笑顔が広がる『地産知笑』の輪を、これからも一緒に広げていきましょう。



他にもブルーベリーを使った商品でショートケーキやタルトなどその日の店主の気分によって出すかも。日替わりのラインナップはInstagramにて毎日公開しております。

観光農園アルシェフェルムのブルーベリーは、無農薬栽培にこだわっている点が特長です。特に今年は味がのっており、色つやともに良くお客さまにも喜んでいただいております。旬の恵みをハチカフェさんや、観光農園でぜひ召し上がってください。



南支店 組合員
小仲美智子さん

04

とろけるカスタード、
弾けるブルーベリー。

ブルーベリーエクレア

アーモンド香るエクレア生地に、ファームアグリコラの平飼卵を使ったカスタードと、北海道産マスカルポーネ&カシスのクリーム。そこに南区・小仲さんのブルーベリーをたっぷりのせた季節限定のエクレアです。素敵なお人柄の小仲さんとの出会いをきっかけに、すべての素材を一口で味わえる「ブルーベリーのエクレア」が誕生しました。人と素材を大切に、夏だけの特別なスイーツです。

¥750(税込)



ハチカフェ店主
二瓶陸さん

新鮮な大粒ブルーベリーがたっぷり！クリーミーなカスタードとの相性が抜群で、一口食べればブルーベリーの甘酸っぱさが口いっぱいに広がります。見た目も華やかで、ブルーベリー好きにはたまらない至福のエクレアです。

サクサク食感の生地の中には、なめらかな2種のクリームがたっぷり詰まっています。さらに、ブルーベリーの果肉が入っていることで、甘味とほどよい酸味が絶妙なアクセントになっています。生地の香ばしさとクリームのコク、ブルーベリーのフルーティーな味わいが一体となり、最後まで飽きずに楽しめるスイーツです。

南支店
神野職員



南支店
千葉職員



札幌市西区八軒に佇むハチカフェは、日常の喧騒を忘れさせてくれる隠れ家のようなカフェです。こだわりのコーヒーや紅茶はもちろん、手作りのケーキや焼き菓子など、心温まるメニューを多数ご用意しております。

Cake and Bake HACHI CAFE(ケーキ&バイク ハチカフェ)

札幌市西区八軒 3条東1丁目 7-8 八祥コーポ 1F

TEL 011-215-5439

●営業時間 / 11:30~17:00(ラストオーダー 16:30)

売り切れ次第終了

●定休日 / 水曜日・木曜日(不定休あり、SNSにて告知)

●駐車場 / 店裏に2台



@HACHICAFE8

戸籍にフリガナが記載されます

改正戸籍法の施行(令和7年5月26日)で、戸籍に氏名のフリガナが記載されることになりました。

戸籍に氏名のフリガナが記載されることで、1. 行政サービスのデジタル化の促進、2. 本人確認情報としての利用、3. 各種規制の潜脱行為の防止等の効果が期待されます。

本籍地の市区町村長から戸籍に記載される予定のフリガナが通知されるから必ず確認してね!

1 本籍地の市区町村長による通知
本籍地の市区町村長から、戸籍に記載される予定の氏名のフリガナが郵送で通知されます。
通知は、令和7年5月26日以降送付されますので、通知が届いたら必ず内容を確認してください。
通知のフリガナが正しいときは、届出をしなくても通知のとおり戸籍に記載されます。

2 氏名のフリガナの届出
令和7年5月26日から令和8年5月25日までの間、氏名のフリガナの届出をすることができます。
オンライン(マイナポータル)での届出が便利ですが、郵送や市区町村の窓口で行うこともできます。

3 市区町村長による氏名のフリガナの記載
2の届出がなかった場合、令和8年5月26日以降に、1の通知に記載されたフリガナが戸籍に記載されます。

届出に手数料はかからないよ! また、届出をしなくても罰則はないから安心してね!

もう少し詳しく!

届出することができるのは...
氏名のうち、名のフリガナは各人が届出することができます。氏のフリガナは原則として戸籍の筆頭者が届出をすることができますが、配偶者などと届出するのが望ましいです。

届出する場合には...
他の行政手続(例:パスポート、年金)等において既に使用している氏名のフリガナを確認しておきましょう。戸籍上の氏名のフリガナと食い違うことがあると、他で使用しているフリガナの変更手続が必要となるなど、不都合が生じる可能性があります。

出生等で新たに戸籍に記載される方のフリガナは...
令和7年5月26日から、「氏名として用いられる文字の読み方として一般に認められているもの」でなければなりません。例として、(1)漢字の音読みや読み方の複雑性をおよそ又は全く認めることができない読み方(例:太郎佐ジョージ、マイケル)、(2)漢字的持つ意味とは反対の意味による読み方(例:高をヒコシヤ)などは認められない場合があります。

届出することができるのは

- 「氏のフリガナ」は、原則として戸籍の筆頭者が単独で届出人となります。
- 「名のフリガナ」は、戸籍に記載されている各人が届出人とすることができます。

届出方法は、郵送、市区町村窓口、マイナポータルで行なうことができます。

届出をする場合には、他の行政手続き(年金、パスポート他)等で使用しているフリガナを確認しておきましょう。戸籍上のフリガナと違っている場合は変更手続きなどの不都合が生じる場合があります。

出生等で新たに戸籍に記載する氏名のフリガナについては、「氏名として用いられる文字の読み方として一般に認められているもの」に限られることとされています。

今回の記事は、法務省民事局のホームページより抜粋して作成しております。詳細につきましては関連のホームページ等でご確認くださいませようようお願い申し上げます。

相談部では、今後も組合員の皆さまのお役に立つ情報の発信を続けてまいります。

理事会だより

第3回定例理事会

令和7年6月27日(金)午後1時00分より、本店・統括支店の各会議室において、Web形式による定例理事会が開催された。

●協議事項

1、令和6年度決算監事監査回答書(案)について

令和6年度定期(決算)監査で指摘された、課題および改善願いたい事項に対する回答内容が詳細に説明され、可決決定。

2、『カスタマーハラスメントに対する基本方針』の制定について

職員の安全な職場環境を確保、および顧客との良好な信頼関係を永続的に築いていくことを踏まえ、カスタマーハラスメント事案に対する対外的な明示をするべく新たに制定する内容について説明され、協議後、可決決定。

3、『就業規程』および『職制規程』の一部改正について

新たな勤怠管理システム導入に伴う、時間外勤務の取り扱いの整理、および休暇申請の円滑化や半日単位での有給休暇付与の基準の

整備に伴う所要の改正である旨が説明され、協議後、可決決定。

4、固定資産の取得について

役員が使用する業務用パソコンの操作に必要なソフトウェアサポート終了に伴う入替であることが説明され、協議後、可決決定。

5、大口融資の取り扱いについて

北札幌支店および新琴似支店扱いの大口融資計2件について、申込事項・取組経過・資金計画・財務状況・保全状況・弁済見込み等が説明され、協議後、可決決定。

●報告事項

1、地区別懇談会での質問・意見等の報告

2、再発防止策に係る取組状況報告

3、「マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与対策の実施状況等に関する実態把握」について

4、令和7年度第2四半期余裕金等運用計画額および運用方針について

5、不良債権経過報告

6、令和7年度経済店別苗物販売実績報告

7、農作物の作況報告

8、5月末財務状況報告

9、5月末組合員加入・脱退状況および未済持分譲渡報告

10、6月の動静と7月の予定について

(閉会・午後3時40分)

令和7年6月末業務実績

令和7年5月末業務実績

JAさっぽろ DATA	組合員数	正組合員	3,746名	3,745名
		准組合員	34,229名	34,039名
合計			37,975名	37,784名
	出資金残高		71億5千7百万円	71億5千5百万円
	販売取扱高		4億3千7百万円	3億1百万円
	購買供給高		9億4千1百万円	6億8千4百万円
	貯金残高		3682億7千8百万円	3669億5千1百万円
	融資残高		1103億7千6百万円	1101億9千6百万円
	共済保有高		6308億円	6316億8千万円
	施設建設取扱高		0円	0円
	管理受託戸数		4,797戸	4,783戸



ご家族みんなで！
たまねぎ詰め放題



札幌産の農産物 PR！
女性部特製豚汁販売

さとらんど「たまねぎフェア 2025」

開催期間 9月20日(土)から4日間 10:00～16:00
青年部・女性部の出店は9月20日(土)です

- 女性部の特製豚汁は、11:00～の販売です。
- 青年部・女性部とも、商品がなくなり次第終了。

開催場所 さとらんど交流館
 札幌市東区丘珠町 519-1(第6駐車場をご利用ください)

青年部ブースでは、青年部員が生産したたまねぎ(規格外品)の詰め放題を実施し、女性部ブースでは、女性部員の皆さまが腕によりをかけて作る、札幌産の農産物を使用した「特製豚汁」を販売します。

どちらのブースもフェア開催初日の20日(土)、1日限りの出店です。皆さまのご来場を心よりお待ちしております！

9月20日(土)から4日間、さとらんどで開催される「たまねぎフェア2025」へ、青年部と女性部がそれぞれ出店します。

青年部ブースでは、青年部員が生産したたまねぎ(規格外品)の詰め放題を実施し、女性部ブースでは、女性部員の皆さまが腕によりをかけて作る、札幌産の農産物を使用した「特製豚汁」を販売します。

青年部では「たまねぎ詰め放題」の実施、女性部では「特製豚汁」を販売！

青年部・女性部さとらんど
「たまねぎフェア2025」に出店



JAさっぽろ

アグリアクションフェスタ 2025

日時 2025年9月14日(日)
 開場 10:00～閉場 16:00

場所 札幌コンベンションセンター
 (札幌市白石区東札幌6条1丁目1番1号)

入場無料
雨天決行

食べよう、話そう、体験しよう

AGRIACTION!
HOKKAIDO

「アグリアクション北海道」とは、農業(AGURI)から、さまざまな行動(ACTION)を起こすことで、農業や食への理解を求め、消費者は消費することや情報発信などを通じて、北海道農業・食を応援する(REACTION)ことを目指します！

JA共済 アンパンマン交通安全キャラバン

1回目 11:00～、2回目 14:00～
 ※事前応募は終了しております。

農産物・ 農畜産物加工品の販売

販売開始 10:00～15:30
 ※売り切れにより終了

農産物の袋詰め放題 (人参、馬鈴薯、玉葱)

販売開始 10:00～15:30
 ※無くなり次第終了

キッチンカーや
地場農畜産物を
使用した飲食販売も
あります！

農産物試食コーナー

1回目 11:30～
 2回目 14:30～
 ※数量限定、無くなり次第終了

JAさっぽろ PR コーナー

JAさっぽろのご紹介など!!
 ※アンケートやLINEお友達登録で
粗品プレゼント(数量限定)

JA共済
自転車シミュレーター
搭載車による「安全運転
診断」も体験できます！

※状況により開催内容が変更または中止となる場合もございますので、あらかじめご了承ください。

その場合はJAホームページにてお知らせいたしますので、ご確認ください。

※会場には、札幌コンベンションセンターの駐車場(有料)がありますが、数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせ JAさっぽろ 本店 経営企画部 経営企画課 電話 011-621-1980



My best shot



Photo by 曾我 孝博

2020年からフリーランスのフォトグラファーとして主に札幌市内で活動。2022年から「虹の大樹」表紙と巻頭写真の撮影を担当しています。

広大な敷地を、猛暑の中、家族3人で仲良く(時にはケンカもしながら)手入れをしていく姿は、正に家族の象徴とも言える場面でした。

